

横浜市立瀬谷中学校移転 に関する地域説明会

令和6年3月22日（金）19時～
3月23日（土）10時～

教育委員会事務局
学校計画課 教育施設課

説明会次第

1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯
2. 中学校移転建替事業の概要
3. 中学校移転に伴う今後の調整事項
4. その他
5. 質疑応答

1 瀬谷中学校の現状と 現在までの経緯

1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯

瀬谷中学校の現状（施設面）

地理院地図
GSI Maps

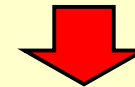
校地面積 : 19,041m²
運動場面積 : 8,127m²



昭和22年創立（創立76年）

校舎棟の老朽化

校舎棟建設から、
60年以上経過（1棟）
50年以上経過（2棟）
40年以上経過（1棟）



建替えについて、本格的に検討すべき時期・状況です。

1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯

瀬谷中学校の現状（施設面）

プレハブ棟使用状況（R5.4時点）

普通教室：4教室

特別教室等：6.5教室分（被服室・美術室等）

プレハブ棟の撤去

プレハブ棟2棟の設置から**10年以上経過**し、生徒動線・学校教育の利便性の面から、御不便をおかけしています。

⇒今後の生徒数推計から**プレハブ棟を撤去できない**状況です。

瀬谷中学校生徒数推計・保有教室状況

学校名		R5(※)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	保有教室
瀬谷中	生徒数	812 (23)	787	763	703	686	668	677	24 (仮設4)
	学級数	21 (4)	21	21	20	19	18	18	

※R5は令和5年5月1日現在、実数値。（ ）内は個別支援級生徒・学級数
R6以降は令和5年度義務教育人口推計の推計値（一般学級のみ）

1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯

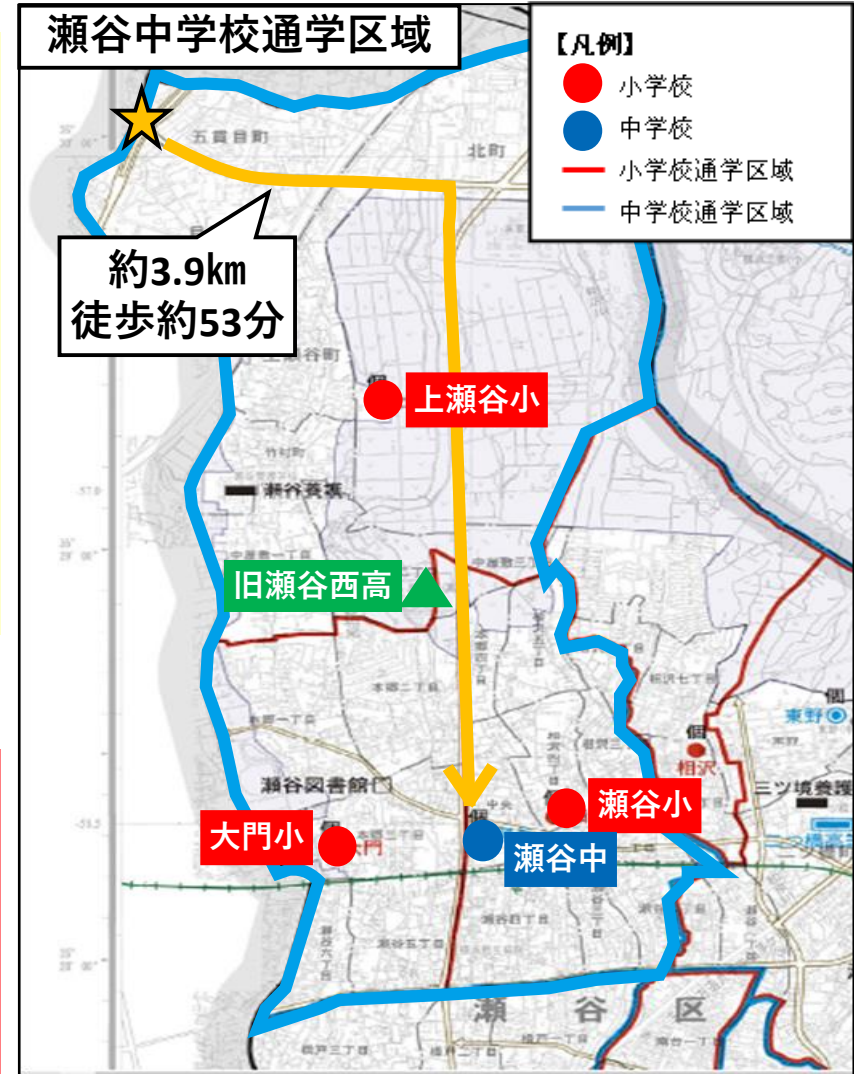
瀬谷中学校の現状（通学環境面）

遠距離通学

本市では、中学校の望ましい通学距離は、片道おおむね3 km以内としています。現在、瀬谷中学校通学区域では、**3 kmを超える地域が北部にあり、市内で唯一、自転車通学**を行っており、通学時の安全面に懸念が生じています。



◎旧瀬谷西高校跡地へ移転した場合
適正な通学距離（おおむね3 km以内）となり、自転車通学による懸念も解消される見込みです。

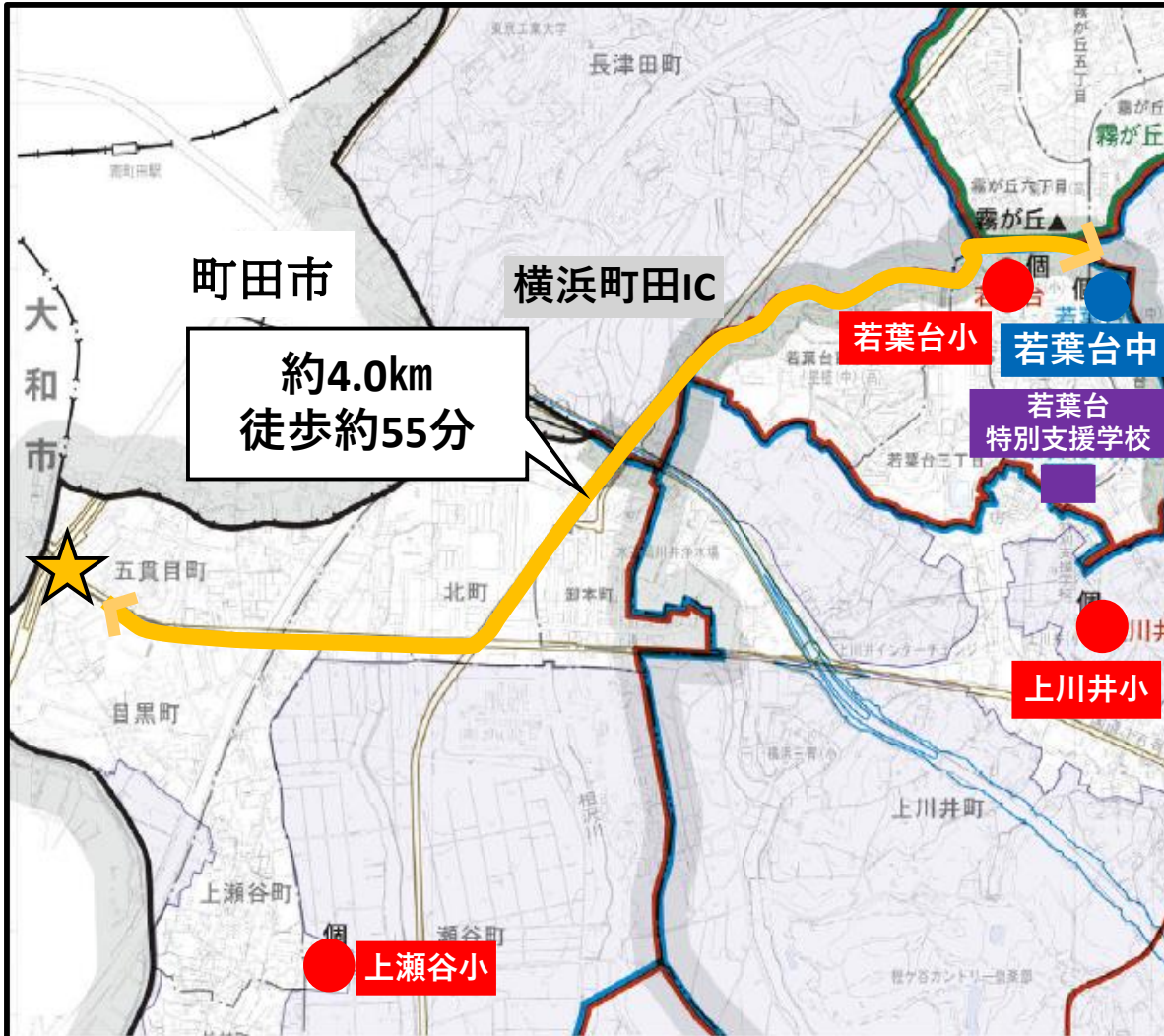


1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯

瀬谷中学校の現状（通学環境面）

周辺中学校

瀬谷中学校通学区域周辺は、町田市及び大和市と隣接しており、市内における近隣中学校は旭区の**若葉台中学校**となります。若葉台中学校は、現在、自転車通学等を行っている北部地域からの通学距離は現在の瀬谷中学校より遠くなることから、**通学区域の見直しは難しい**状況です。



1. 瀬谷中学校の現状と現在までの経緯

現在までの経緯

平成30年度	神奈川県が、 神奈川県立瀬谷西高等学校・瀬谷高等学校の再編・統合を発表。
令和元年度	瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会より、 要望書（『神奈川県立瀬谷西高等学校廃校跡地に横浜市立瀬谷中学校が移転することについて（要望）』）が提出。
令和4年度	（令和5年3月）瀬谷西高等学校・完校（閉校）
令和5年度	瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会6月定例会にて、 現在までの検討状況を説明。
	瀬谷中関係校（瀬谷中・瀬谷小・大門小・上瀬谷小）PTA、 瀬谷中学区内連合町内会 と意見交換・ヒアリングの実施。
	瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会より、 要望書（『横浜市立瀬谷中学校の神奈川県立瀬谷西高等学校跡地への新築・移転について（要望）』）が提出。
	横浜市が、横浜市立瀬谷中学校移転建替を事業化判断。

1. 現在までの経緯・瀬谷中学校の現状

施設面

- ・校舎棟の老朽化により、**建替えを本格的に検討せざるを得ない状況。**
- ・今後の生徒数の見込みから、**プレハブ棟が撤去出来ない状況。**

通学環境面

- ・遠距離通学による、自転車通学をはじめ、**通学時の安全面に懸念**が生じている状況。
- ・近隣中学校がなく、**通学区域の見直しによる解消が難しい**状況。

これらの課題を解決し、より良い教育環境を構築するため、横浜市立瀬谷中学校を、**旧神奈川県立瀬谷西高等学校跡地へ移転・建替（新築）**を行います。

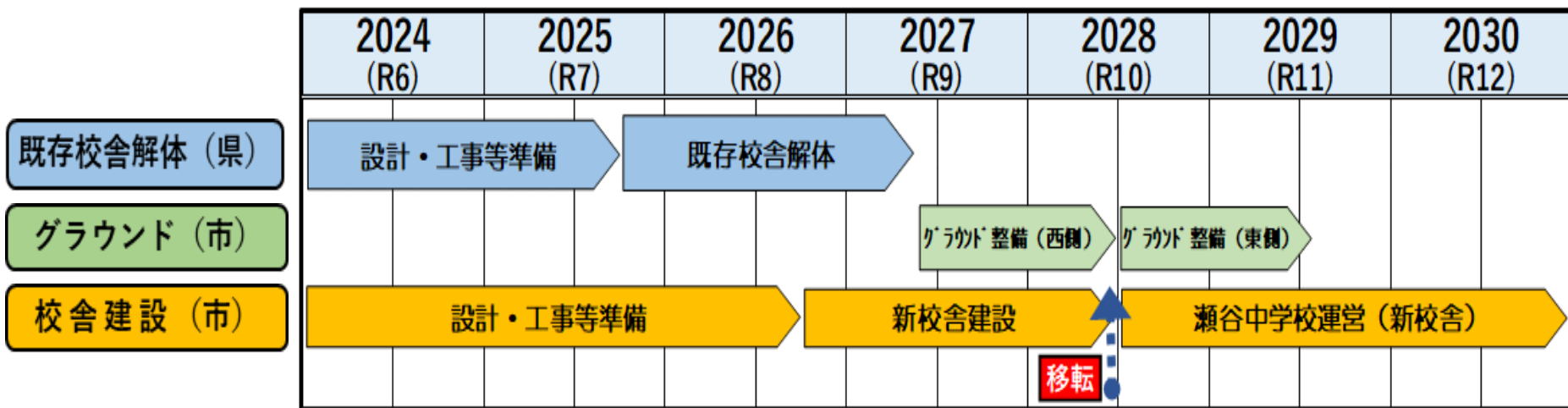
2 中学校移転建替事業の概要

(1) 移転スケジュール (予定)

2 中学校移転建替事業の概要

(1) 移転スケジュール（予定）について

- 令和6年度より、移転後の瀬谷中学校における新築工事に向けた、**設計作業を開始（業務委託）**する予定です。
- 移転時期は、**2028年(令和10年)夏休み**の予定です。
- 東側のグラウンドを除き、**全ての校舎施設及びグラウンドが供用開始となる時点で移転**することを前提に、今後、作業を進めていきます。



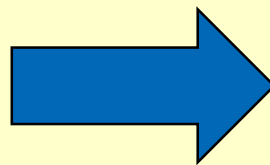
2 中学校移転建替事業の概要

(1) 移転スケジュール（予定）について

【令和10年夏休みに移転した場合の各学年について】

《令和6年度》

未就学	3歳児
	4歳児
	5歳児
小学校	新1年生
	新2年生
	新3年生
	新4年生
	新5年生
	新6年生
中学校	新1年生
	新2年生
	新3年生



《令和10年度》

小学校	小学2年生
	小学3年生
	小学4年生
	小学5年生
	小学6年生
中学校	中学1年生
	中学2年生
	中学3年生
高校	高校1年生
	高校2年生
	高校3年生

2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定)

2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定) について

地理院地図
GSI Maps

旧神奈川県立瀬谷西高等学校
校地面積：約38,600^m²



2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定) について

用途地域等：市街化調整区域

建ぺい率：(一般区域) 50% (沿道区域) 60%

容積率：(一般区域) 80% (沿道区域) 200%

防火・準防火地域：防火指定なし

(凡例)

第1種低層住居専用地域	第2種低層住居専用地域
第1種中高層住居専用地域	第2種中高層住居専用地域
第1種住居地域	第2種住居地域
準住居地域	近隣商業地域
商業地域(第7種高度地区)	商業地域(第6種高度地区)
商業地域(最低限1種高度地区)	商業地域(最低限2種高度地区)
準工業地域(第5種高度地区)	準工業地域(第7種高度地区)
工業地域(第5種高度地区)	工業地域(第7種高度地区)
工業専用地域	最低限3種高度地区
市街化調整区域	道路界
用途界	地形地物界等(区域区分のみ)
地番界(区域区分のみ)	都市計画河川
都市計画道路	



この地図の著作権は横浜市が保有します。

2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定) について

地理院地図
GSI Maps

神奈川県による
既存校舎解体後、
グラウンド整備予定

新校舎・東側グラウンド(※)
整備予定

※東側グラウンドは、移転後整備予定

新校舎 (※)

※新校舎の場所・形状等は未定

西側
グラウンド

東側
グラウンド

敷地東側に校舎を建築し、東側グラウンドを整備します。
敷地西側に既存校舎解体後、西側グラウンドを整備します。

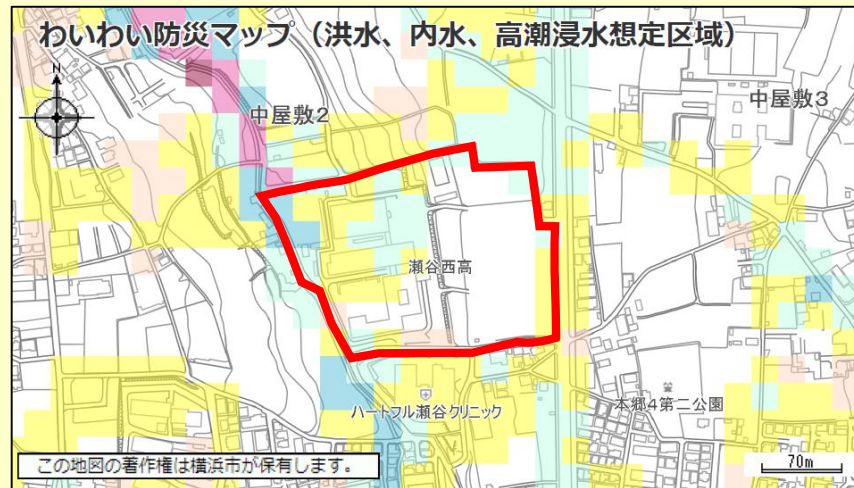
2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定) について

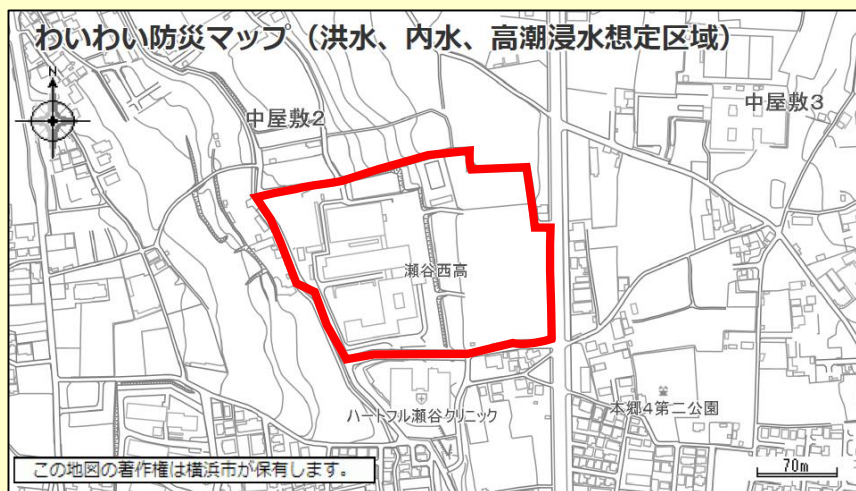
【洪水】 浸水想定区域 (想定最大規模)



【内水】 浸水想定区域 (想定最大規模)



【高潮】 浸水想定区域



(凡 例)

【洪水】 浸水想定区域 (想定最大規模および計画規模)

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	
浸水想定区域が重複する地域 (より深い浸水深を表示)		

【内水】 浸水想定区域 (想定最大規模)

0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m	0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m	0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m
0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1.0m	1.0 ≤ 浸水深 (m) < 2.0m	2.0 ≤ 浸水深 (m)

【高潮】 浸水想定区域

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	20.0 ≤ 浸水深 (m)

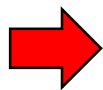
2 中学校移転建替事業の概要

(2) 建築計画 (予定) について

施設整備概要

移転後の学校施設は、P4にて御説明しました令和10年度の推定学級数の【18学級】を目途に『横浜市立小・中学校施設の建替え等に関する基本方針』内に記載の『**中学校施設整備水準**』に沿って整備予定です。

右記資料
QRコード



横浜市立小・中学校施設の建替え等に関する基本方針より抜粋

中学校施設整備水準

令和3年7月改訂

種別	室名	学級数										水準(単位:CR) ※1				
		5	6~10	11	12	13~14	15~16	17	18~21	22~24	25	26~29	30~			
教室	1 普通教室	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数
	2 個別支援教室 ※2	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数
	3 特別支援教室	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
特別教室	1 理科教室	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	2 音楽教室	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	3 家庭科教室	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	4 技術教室	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
	5 美術教室	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	6 図書室	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
	7 教育相談室・耐火書庫	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	8 特別活動室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	9 道路指導室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
多目的室	1 多目的室(集会・発表等)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	2 多目的室(少人数指導)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	3 多目的室(学校指定) ※3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
管理諸室	1 校長室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	2 職員室 ※4	1.5	2	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	3.5	3.5	4.0	4.5	4.5		
	3 事務室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	4 保健室	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	5 保健相談室・教材教具室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	6 放送・スタジオ室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	7 会議室	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	8 印刷室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	9 職員更衣室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	10 技術員室・湯沸室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	11 休養室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	12 職員・来校者玄関	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	13 変電室	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	14 倉庫	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	15 中学校給食配膳室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	16 PTA会議室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	17 地域交流室	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
その他	1 生徒更衣室	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
	2 昇降口	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5			

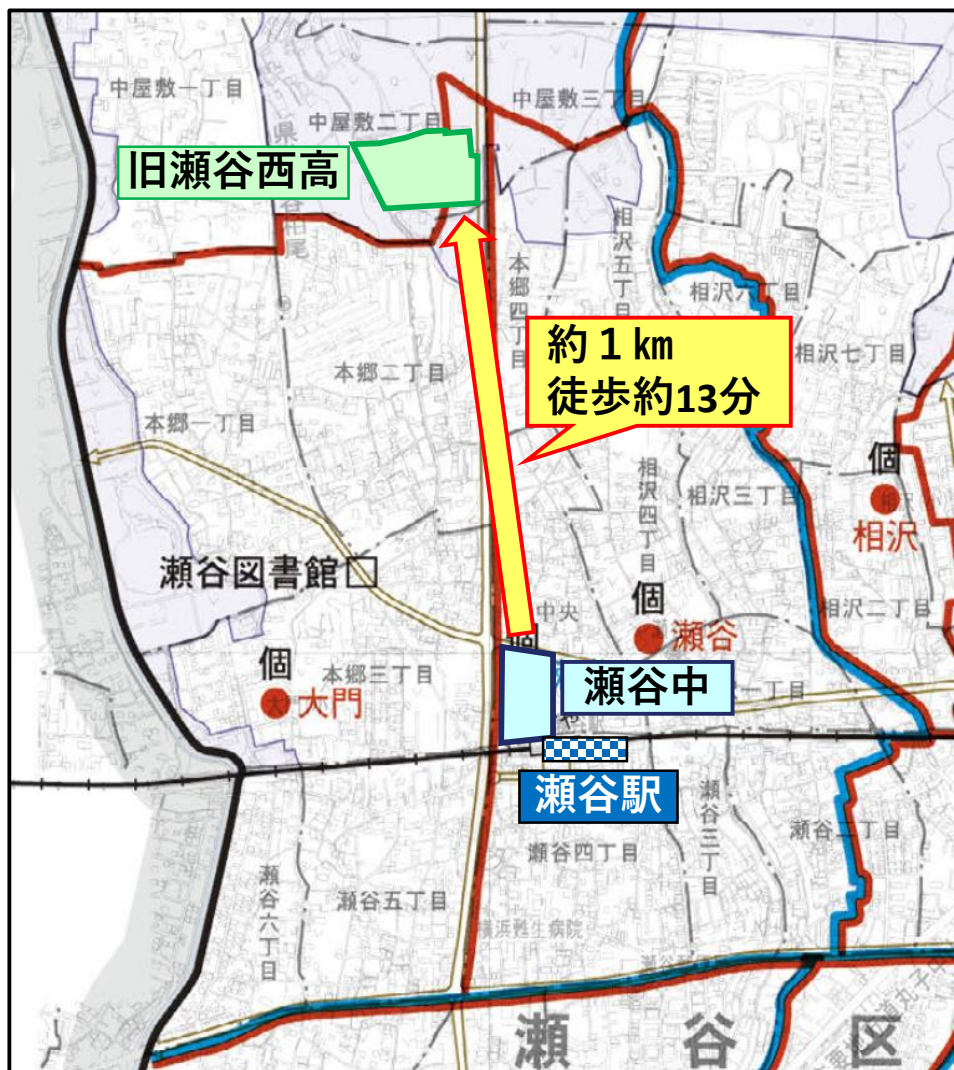
※1 普通教室の1クラス相当の面積を1CRとする
 ※2 個別支援教室が1CRの場合は、プレイルームを含め2CR整備する
 ※3 具体的な用途…個別支援教室の増設、国際教室、不登校対応等
 ※4 個別支援教室が3CR以上の場合、普通教室数+個別支援教室数-2CRの欄を適用する

3 中学校移転に伴う 今後の調整事項

(1) 移転に伴う通学距離の状況

3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(1) 移転に伴う通学距離の状況



主に瀬谷中学校以南
にお住いの方

通学距離が遠くなる

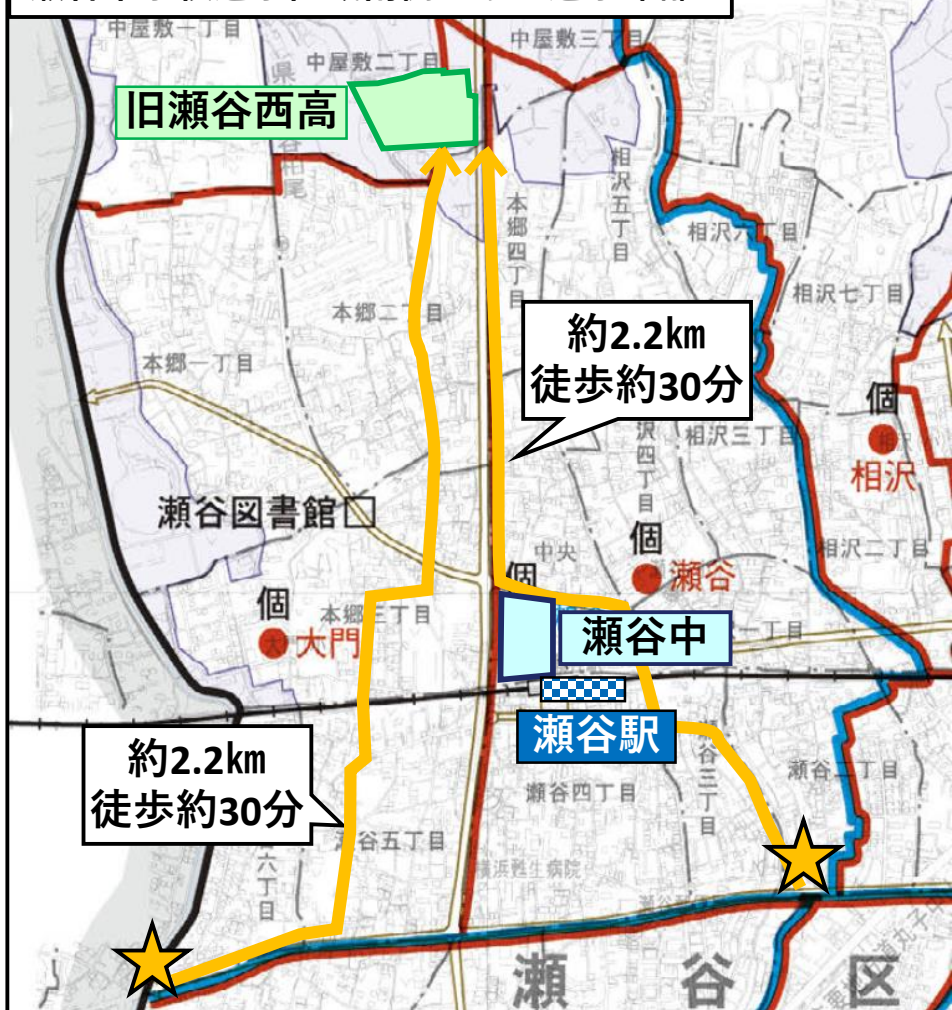
主に旧瀬谷西高校以北
にお住いの方

通学距離が近くなる

3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(1) 移転に伴う通学距離の状況

瀬谷中学校通学区域南側からの通学距離



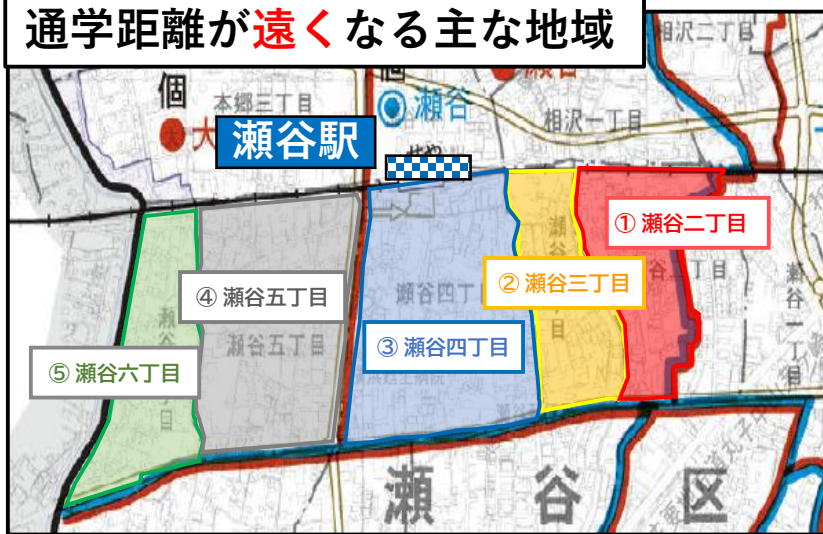
瀬谷中学校通学区域北側からの通学距離



3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(1) 移転に伴う通学距離の状況

通学距離が遠くなる主な地域



※参考※

(令和5年5月1日現在) 瀨谷二丁目～六丁目に住住する、
・幼児数(0～5歳)・児童数(小学生)・生徒数(中学生)

主な検討地域について

旧瀨谷西高校跡地への移転に伴い、通学距離が遠くなる、主な地域である瀨谷二丁目～六丁目を中心に、通学区域の変更または、特別調整通学区域(※)の導入も含め、学校・保護者・地域の皆様からの御意見もいただき、検討を進めます。

※特別調整通学区域

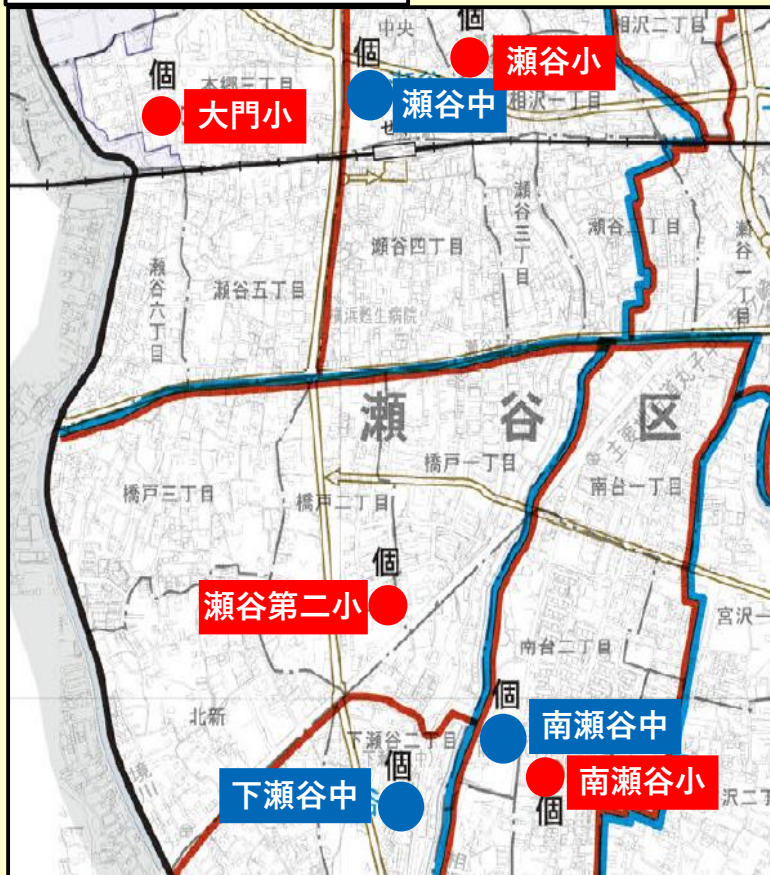
学校の施設及び通学路の状況等を考慮し、指定校(正規校)又は教育長が定める指定校以外の学校(受入校)のいずれかを選択できる制度。

	幼児数(人)	児童数(人)	生徒数(人)
①瀨谷二丁目	42	43	40
②瀨谷三丁目	72	49	16
③瀨谷四丁目	149	147	58
④瀨谷五丁目	86	107	50
⑤瀨谷六丁目	58	38	17
合計	407	384	181

3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(1) 移転に伴う通学距離の状況

近隣小・中学校状況



※R5は令和5年5月1日現在、実数値

() 内は個別支援級児童・生徒数、学級数

R6以降は令和5年度義務教育人口推計の推計値（一般学級のみ）

《近隣中学校》生徒数推計・保有教室状況

学校名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	保有教室
下瀬谷中	生徒数	384 (22)	385	376	356	356	322	325	20
	学級数	12 (3)	12	12	11	11	10	10	
南瀬谷中	生徒数	413 (24)	379	364	349	326	289	293	21
	学級数	12 (4)	11	11	10	10	9	9	

《近隣小学校》児童数推計・保有教室状況

学校名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	保有教室
瀬谷第二小	児童数	544 (30)	527	504	505	480	479	457	21
	学級数	18 (5)	18	18	18	18	18	17	
南瀬谷小	児童数	645 (55)	628	590	564	552	530	497	26
	学級数	22 (8)	21	20	19	19	18	17	

3 中学校移転に伴う 今後の調整事項

(2) 移転後の瀬谷中学校について

3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(2) 移転後の瀬谷中学校について

跡地活用について

瀬谷中学校移転後の敷地については、**まちの将来の発展につながる活用に向けて、今後、都市整備局等※**にて検討を進める予定です。

参考「横浜市都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」平成29年3月

3-3. 将来都市構造 ③ 都市活動

● 駅周辺の生活拠点（三ツ境駅周辺、瀬谷駅周辺）

- ・ 瀬谷駅周辺は、文化、商業、業務を中心とした生活拠点として集積・充実を図ります。

4-2. 都市の活力・魅力の方針 ① - b. 瀬谷駅周辺

- ・ 旧上瀬谷通信施設の最寄駅として、旧上瀬谷通信施設の跡地利用の具体化と連携したまちづくりを進めます。

(※令和6年4月の市組織再編により、脱炭素・GREEN×EXPO推進局を含め検討を行う予定です。)

3 中学校移転に伴う今後の調整事項

(2) 移転後の瀬谷中学校について

地域防災拠点・風水害時の避難場所について

現在、瀬谷中学校は『**地域防災拠点（指定避難所）**』及び『**風水害時の避難場所（指定緊急避難場所）**』として指定されています。

今後、**総務局地域防災課・瀬谷区総務課**にて検討を進める予定です。

4 その他

地域・PTA等からいただいた
主な御意見と本市の考え方

4 その他

地域・PTA等からいただいた主な御意見と本市の考え方

主な御意見・御質問と本市の考え方①

旧上瀬谷通信施設地区での、新たな住宅開発の可能性も見据えて、瀬谷中学校はそのままに、旧瀬谷西高校の跡地に中学校をもう1つ建てるのが良いのではないかと？

(本市の考え方)

⇒旧上瀬谷通信施設地区では住宅建設予定はなく、現在の瀬谷中を残し、旧瀬谷西高校跡地に新たに中学校を整備する予定はありません。

主な御意見・御質問と本市の考え方②

通学区域南側の方が生徒数が多いのに、移転するのか？小学校との連携も踏まえれば移転はすべきではない。

(本市の考え方)

⇒現在の瀬谷中学校から遠くなる等のご不便をおかけしますが、現瀬谷中学校の施設状況及び遠距離通学(自転車通学等)による通学安全面への懸念といった課題の解消を図ることが必要と考えており、御理解をお願いいたします。

4 その他

地域・PTA等からいただいた主な御意見と本市の考え方

主な御意見・御質問と本市の考え方③

旧瀬谷西高校の施設を改修して使用すればいいのでは？

(本市の考え方)

- ⇒・既存校舎の老朽化に対する維持保全対応や、トイレ等の環境改善の改修対応が必要
- ・エレベーター設置等のバリアフリー化改修等、相当な改修が必要
 - ・既存校舎の特別教室や体育館等の施設は中学校としては過剰
 - ・既存校舎側(敷地西側)は、内水被害想定区域内
- これらの理由から、既存校舎を転用せず、新たな校舎を整備します。

主な御意見・御質問と本市の考え方④

瀬谷西高校と瀬谷中学校の土地を交換するのか？

(本市の考え方)

- ⇒瀬谷西高校の用地取得の方法は現在、神奈川県と調整中です。現状、瀬谷中学校の土地と交換することは想定しておりません。

4 その他

地域・PTA等からいただいた主な御意見と本市の考え方

主な御意見・御質問と本市の考え方⑤

移転先の旧瀬谷西高校の敷地は中学校としては広すぎないか？

(本市の考え方)

⇒旧瀬谷西高校敷地は約38,000m²と現在の瀬谷中の敷地(約19,000m²)の約2倍の広さがあります。まずは瀬谷西高校敷地全面を使用して、新たな瀬谷中学校を整備しますが、移転後、学校の利用状況をしっかりと注視しつつ、例えば西側グラウンドエリアの有効活用について検討します。

主な御意見・御質問と本市の考え方⑥

移転することで、通学時に不安がある。

(本市の考え方)

⇒小学校と異なり、中学校では具体的な通学路を指定しませんが、今後、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりの動向等も踏まえながら、通学時の安全指導の在り方については、瀬谷中学校にて検討していきます。

4 その他

地域・PTA等からいただいた主な御意見と本市の考え方

主な御意見・御質問と本市の考え方⑦

通学区域の見直しをする場合は、中学校の通学区域が変更された場合、小学校の通学区域も変更となるのか？兄弟姉妹によって学校が別々となる場合もあり得るのか？

(本市の考え方)

⇒本市では、小・中連携に注力しており、中学校の通学区域見直しの際には、関係する小学校の通学区域についても見直しを含め、検討する必要があると考えています。兄弟姉妹については、指定地区外就学制度等で対応を考えています。

その他、主な御意見

- ・移転によって駅前が、人が集まる・賑わう形になれば、良いことだと思う。
- ・移転によってより良い学校になるということでなければ、賛成しづらい。
- ・中学校移転だけでなく、跡地利用や花博との関連に関心が高い。

5 質疑応答

お問合せ先

	担当区局・課	電話	メール
中学校移転（教育・通学環境）について	教育委員会事務局 学校計画課	671-3252	ky- keikaku@city.yokohama.jp
地域防災拠点・風水害時の避難場所について	瀬谷区役所 総務課	367-5611	se- somu@city.yokohama.jp